

年間指導計画表

教科・科目	国語・古典B	単位数	3
		学科・学年・学級	普通科 第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	古典としての古文と漢文をよむ能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書・副教材等	○古典教科書「精選古典B 古文編」「同 漢文編」(東京書籍) ○古典副教材「さくらさく古文単語」(浜島書店) 「進研WINSTEP古典2改訂版」(株式会社ラーンズ) 「2+錬成古文改訂版」(尚文出版) 「2+錬成漢文改訂版」(尚文出版) 「古典文法習得のためのまぎらわしい語の識別マスターノート改訂版」(数研出版) 「古典文法習得のための敬語マスターノート改訂版」(数研出版) 「短期集中シリーズ和歌」(桐原書店) 「新版三訂カラー版新国語便覧」(第一学習社) 「読解を大切に体系古典文法」(数研出版) 「読解を大切に体系古典文法学習ノート」(数研出版) 「基礎から解釈へ 漢文必携四訂版」(桐原書店) 「基礎から解釈へ 漢文必携チェックノート応用編」(桐原書店) 国語辞典・古語辞典・漢和辞典等の辞書

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	ノート、授業態度、提出物	25%
b. 読む能力	古典を読んで、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	提出物、定期考査、小テスト	50%
c. 知識・理解	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。	提出物、定期考査、小テスト	25%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点		
					a	b	c
前期 (第1回)	4	4	『宇治拾遺物語』「小野篁、広才のこと」	・当時の慣習、登場人物の心情を理解して、説話の世界を読み味わう。 ・説話を読み、展開や内容のおもしろさを味わう。 ・既習の文法事項を確認する。	○	○	○
			『枕草子』 「中納言参り給ひて」 「雪のいと高う降りたるを」 「すさまじきもの」	・当時の宮廷文化やその背景を理解して、筆者の美意識やものの見方を読み取る。 ・章段ごとの多様な表現の面白さを味わう。 ・敬語の用法(種類・敬意の対象)について理解する。	○	○	○
	5	3	『十八史略』「先従隗始」 『韓非子』「不死之薬」	・機知に富んだ文章を正確に読み解き、その内容を理解する。 ・登場人物の描かれ方に留意し、その人物像を理解する。 ・基本的な句法・語法を理解する。	○	○	○
			『徒然草』「花は盛りに」	・随筆を読み、作者のものの見方や感じ方、考え方の違いについて考察する。 ・筆者の、既存の価値観に対する批判的な姿勢を読み取る。 ・既習の文法事項を確認する。	○	○	○
	6	4	『世説新語』「小時了了」	・話の展開に即して、内容を正確に読み取る。 ・発想や表現の特色を理解し、小説のおもしろさを味わう。 ・基本的な句法・語法を確認する。	○	○	○
					○	○	○

前期 (第2回)	7	3	『楚辞』『漁父之辞』(屈原)	<ul style="list-style-type: none"> ・文章にこめられた思想や主張を読み取る。 ・文章の展開を理解するとともに、筆者の考え方を読み取る。 ・対句の特徴を理解する。疑問、反語、受身の句法を理解する。 	○	○	○
	8	3	『更級日記』 「門出」	<ul style="list-style-type: none"> ・平安女流日記文学の特徴とともに、当時の人々の文化、生活を理解する。 	○	○	○
		4	「物語」	<ul style="list-style-type: none"> ・作者の物語へのあこがれと、場面に応じた心情の変化を読み取る。 ・助動詞の知識を確認し、解釈に生かす。 	○	○	○
	9	3	『古文真宝後集』 「春夜宴桃李園序」(李白)	<ul style="list-style-type: none"> ・文章にこめられた作者の主張を理解する。 ・文章の構成や展開、表現技巧を通して、文章表現の巧みさおもしろさを味わう。 ・基本的な句法・語法を理解する。 	○	○	○
後期 (第3回)	10	6	『源氏物語』 「桐壺」(後半)	<ul style="list-style-type: none"> ・『源氏物語』の時代背景、当時の宮廷生活と作者紫式部について理解する。 	○	○	○
		5	「若紫」	<ul style="list-style-type: none"> ・物語の構成、内容を理解して、登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取る。 ・語彙や、助詞・助動詞、敬語などの文法事項を総合的に理解する。 	○	○	○
	11	6	『史記』 「鴻門之会」	<ul style="list-style-type: none"> ・『史記』と作者司馬遷、本文の時代背景を理解するとともに、著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとする。 	○	○	○
		2	「四面楚歌」	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の人間関係を整理して、その言動と心情を話の展開に沿って読み取る。 	○	○	○
2	2	「項王自刎」	<ul style="list-style-type: none"> ・口語訳の際に留意を要する句法・語法、語彙を理解する。 	○	○	○	
後期 (第4回)	12	8	『大鏡』 「道長、伊周の競射」	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史上の事実と物語の語られ方を知り、歴史物語の特徴と文学史的意義を理解する。 ・登場人物の心情を、状況や行動に即して丁寧にたどり理解する。 ・語彙や、助詞・助動詞、敬語などの文法事項を総合的に理解する。 	○	○	○
		8	『大鏡』 「花山天皇の出家」	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史上の事実と物語の語られ方を知り、歴史物語の特徴と文学史的意義を理解する。 ・登場人物の心情を、状況や行動に即して丁寧にたどり理解する。 ・語彙や、助詞・助動詞、敬語などの文法事項を総合的に理解する。 	○	○	○
	2	2	『孟子』 「性之善也、猶水之就下」	<ul style="list-style-type: none"> ・儒家・道家の思想を個々の相違点を意識しながら理解するとともに、人間の生き方やあり方についての考えを深める。 	○	○	○
		2	『老子』 「大道廢有仁義」	<ul style="list-style-type: none"> ・簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら、内容を的確に読み取る。 	○	○	○
2	2	『莊子』 「曳尾於塗中」	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な句法・語法を理解する。 	○	○	○	
3	8	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な時代、ジャンルの文章を、それぞれが成立した時代背景を含めて理解する。 ・設問を通じて、内容を読み取るとともに、内容理解の手順について理解する。 ・既習の文法事項、単語、句法、語法について確認する。 	○	○	○	
【その他】							